

令和4年度 富良野市こども通園センター 事業所職員向け 児童発達支援自己評価結果

職員総数 8名

※評価点算出方法→はい(3点)、どちらともいえない(2点)、いいえ(1点)とし総計を出し職員数の8で割った点数

		チェック項目	評価点(3点満点)	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2.5	・パネルの使用や受入れの工夫をしながら空間を確保できるようにしています。
	2	職員の配置数は適切であるか	2.3	・作業療法士不在で課題はありました。
	3	生活空間は本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2.4	施設的に完全なバリアフリー化は難しいです視覚的情報を示しながら情報伝達等を今後もおこなっています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2.4	施設が老朽化し夏は暑く冬はかなり寒い。夏は気温や状況に合わせて療育内容も考慮しています。寒さに関しては早めにストーブのタイマーをかけるようにして暖かさを確保しています。
業務改善	5	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	3	今後も定期的に会議を開催しています。
	6	保護者等向け評価表により保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2.9	保護者等の意向を把握し業務改善につなげていきます
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2.9	ホームページで公表しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1.9	今後必要に応じて検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	今後も資質の向上のため、時間を確保し積極的に参加を促していきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	3	半年ごとの面談で保護者と成果・課題を確認しあい、保護者のニーズを把握しながら計画書に反映させています。
	11	子どもの発達状況を理解するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2.8	今後も必要に応じてアセスメントツールを利用しながら発達の状況を確認していきます。
	12	児童発達支援計画には子どもの支援に必要な項目や、具体的な支援内容が設定されているか	3	具体的な目標設定を行い、支援内容を確認しながら計画を立てています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3	保護者との共通認識をもとに計画書に沿って療育を行っています。
	14	集団指導を行う場合、活動プログラムの立案をチームで行っているか	2.9	事前にグループ会議をおこなっています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	2.8	外部からの専門支援等を受けたり、研修等に参加することでプログラムが固定化しないように努めています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	2.9	保護者と必要性の確認を行いながらお子さんの状況に合わせて個別と集団を組み合わせています。
17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2.8	事前の打ち合わせと反省は行うように努めています。今後も支援の振り返りや気づいた点	

		チェック項目	評価点(3点満点)	工夫している点、課題や改善すべき点など
	18	支援終了後は、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	2.4	のなどの共有をい必ず行いながら支援に生かしていきたいと思います。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	療育終了後に記録しています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	3	6か月に1回、保護者、相談支援員とモニタリングを行い、利用者に合った計画書の作成をおこなっています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2.8	児童発達管理責任者と担当者が会議に参加しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	2.9	子育て支援や保育士と連携を図りながら就園前のお子さん対象の「あそびの教室」を隔週から毎週に変更し支援を行なってきました。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2.9	市内の保育所には巡回相談として訪問をおこなっています。今後は幼稚園や市外の保育所への訪問も実施していきたいと思います。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2.8	・就学に向けて引継ぎをおこなっています。 ・就学後の連携の難しさを感じる部分もあります。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	コロナの状況を見ながら上川管内の母子通園センター職員と情報交換をする機会が持てました。今後も積極的に参加し情報交換していきたいと思います。専門支援事業として専門家にアドバイスをもらっています。
	28	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2.8	自立支援協議会の部員として参加しています(係長)
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	日々の療育の中で取り組んでいることの目的や課題等について担当から話をするようにし共通認識を持つようになっています。
	30	保護者に対して家族支援、兄弟支援を行っているか	2.8	保護者から相談があった時は対応させていただいています。
保護者への説明責任等	31	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	契約時に説明させていただいています。
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	3	計画書の作成・見直し時に計画書の説明を行い、同意をいただいています。
	33	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	定期的な面談時には子育てに関するの悩みにアドバイスが出来るように心がけています。必要に応じては保護者と話す機会を設け支援していきます。
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1.6	父母の会は現在は休止をしています。茶話会に関しては来年度は定期的な開催を考えていきます。
	35	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	相談や申し入れがあった時には速やかに対応できるように努めてまいります。

		チェック項目	評価点(3点満点)	工夫している点、課題や改善すべき点など
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	なかよしだよりを毎月発行しています。
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	3	個人情報の取り扱いには細心の注意を払っています。関係機関等に情報をお伝えするときは保護者の了承を得ておこなっています。
	38	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	今後も丁寧な説明と配慮をおこなっていきます。
	39	事業所の行事に地域住民も対象とする等地域に開かれた事業運営を図っているか	2.1	地域の方が参加できる行事は行えていません。地域の関係職員が参加できる研修会は年に1度開催しています 地元の実習生の受け入れはおこなっています。
非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	2.9	マニュアル等の再確認を行い、職員に周知していきたいと思います。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	定期的に訓練をおこなっています。
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	2.9	利用時にお渡しする児童票で確認をさせていただいています。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1.9	保護者からの口頭での申し出で確認をしています来年度からは必要性に応じて対応していきます。
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	1.8	危険な場所を確認し職員間で共有をしています。事例集の作成を早急におこないます。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2.4	事業所内で設置委員会を設置しました。来年度は定期的に研修を行います。